

一般国道 180 号 岡山環状南道路

道路建設事業の再評価項目調書

事業名 一般国道180号 岡山環状南道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中国地方整備局
起終点 自：岡山県岡山市南区藤田 至：岡山県岡山市南区古新田	延長	2.9 km
事業概要 一般国道180号は、岡山県岡山市北区から島根県松江までを結ぶ延長約174kmの主要幹線道路である。 岡山環状南道路は、岡山県南部の中央に位置し、岡山県岡山市南区藤田と岡山市南区古新田を結ぶ延長2.9kmのバイパスである。 事業目的は、岡山市都市部で発生している交通渋滞の緩和、交通安全の確保、物流ネットワークの形成である。		
H21年度事業化	H20年度都市計画決定	H23年度用地着手
H24年度工事着手		
全体事業費	約408億円	事業進捗率 84% (令和5年度末見込み)
供用済延長	0.0 km	
計画交通量	23,700 ~ 89,600 台/日	
費用対効果分析結果	B/C: (3便益) 2.3 (事業全体) (残事業) 12.6 総費用: (残事業)/ (事業全体) 82/460 億円 事業費: 59/437 億円 維持管理費: 24/24 億円	総便益: (残事業)/ (事業全体) 1,038 / 1,038 億円 走行時間短縮便益: 920/920 億円 走行費用減少便益: 102/102 億円 交通事故減少便益: 16/16 億円
感度分析の結果	(事業全体) 交通量 : B/C=2.2~2.3 (交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C=12.1~12.6 (交通量±10%) 事業費 : B/C=2.2~2.3 (事業費±10%) 事業費 : B/C=11.7~13.5 (事業費±10%) 事業期間 : B/C=2.2~2.4 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=12.2~13.0 (事業期間±20%)	
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待できる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・国道30号を利用するバスの定時性向上が期待される。 ・玉野市から岡山空港へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・総社市から岡山港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される。 ③都市の再生 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する。 ④国土・地域ネットワークの構築 ・高規格道路「岡山環状道路」の一部として位置づけ。 ⑤個性ある地域の形成 ・玉野・渋川（海水浴場等）（R4観光入込客数：約259万人/年）へのアクセス向上が期待される。 ⑥災害への備え ・第一次緊急輸送道路である一般国道30号の代替路線として機能する。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NOX排出量の削減が期待される。 ・SPM排出量の削減が期待される。 ⑨他プロジェクトとの関係 ・一般国道2号岡山倉敷立体（I期）（R4年度事業化）、一般国道180号岡山西バイパス（西長瀬～樽津）（R2年度事業化）、総社・一宮バイパス（S48年度事業化）と一体的に整備。 ・第3次晴れの国おかやま生き生きプラン（R3.3）において「企業誘致・投資促進プログラム」の重点施策「交通基盤整備」に位置づけ。 ・岡山市第六次総合計画後期中期計画（R3.6）において「人と環境にやさしい交通ネットワークの構築」の重点施策「道路ネットワークの充実・強化」に位置づけ。		

関係する地方公共団体等の意見

「早期整備を望む。」という要望が、一般国道180号岡山県整備促進期成会（岡山市長・岡山市議会議員長・総社市長・総社市議会議員長・高梁市長・高梁市議会議員長・新見市長・新見市議会議員長）から出されている。

岡山市長の意見：異議ありません。

一般国道180号岡山環状南道路は、岡山市の外環状線の一部を構成し、市道藤田浦安南町線と接続することにより、岡山市中心市街地や国道2号の渋滞緩和、物流の効率化による産業振興に大きく寄与する重要な道路であるため、令和6年度の開通に向けた着実な整備を要望します。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・岡山西バイパス側道部の全線開通および国道180号総社・一宮バイパスの部分開通による交通集中や周辺開発の増進、人口増加に伴い、渋滞や交通事故が発生している。
・国道180号総社・一宮バイパスが部分開通、市道藤田浦安南町線が開通、国道2号大樋橋西交差点の立体化が完了し、岡山環状道路として一体的整備が進められている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和5年度末時点で事業全体の進捗率は約84%、用地の進捗率は100%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、工事推進を行っており、令和6年度開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。

「事業再評価」

一般国道180号 おかやまかんじょうみなみ 岡山環状南道路

令和5年12月

国土交通省 中国地方整備局

1. 再評価の重点化・効率化判定票

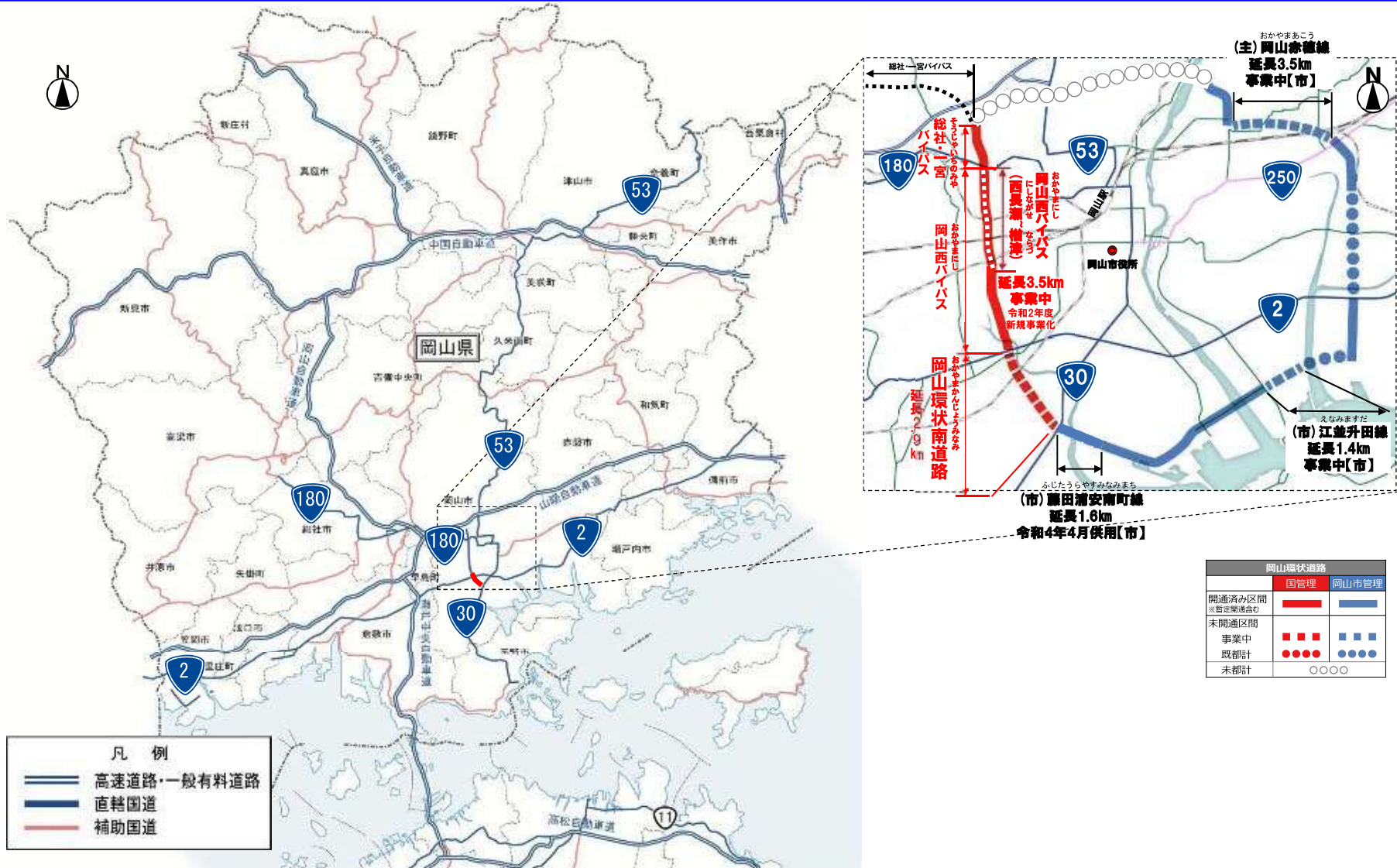
(道路・街路事業)

項目	判定		
	判断根拠	チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	対象路線沿線市町村の人口 R2.1:708,973人 → R5.1:702,020人 対象路線沿線市町村の自動車保有台数H31.3:528,648台→R4.3:536,162台 <small>おかもやま</small> ※対象路線沿線市町村:岡山市	変化なし ■	変化あり □
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
		10%以内 増加無し 増加 10%超え	
事業費の増加	全体事業費:353億円(R2年度再評価時)→ 408億円(R5年度再評価時) ※変化率16%	□	□
事業期間の増加	16年(R2年度再評価時) → 16年(R5年度再評価時) ※変化率0%	■	□
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	R4.2 費用便益分析マニュアル改定	変化なし □	変更あり ■
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	3,729,531 TE/日(R2年度再評価) → 3,952,697 TE/日(R5年度再評価) ※変化率6%	10%以下 ■	10%超え □
周辺ネットワークで新規事業化がない	<small>おかもやまくらしきりたい</small> 一般国道2号岡山倉敷立体(I期)(令和4年度)	なし □	あり ■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	直近3ヶ年の事業費の平均に対する分析費用 0.1% < 基準値(1.0%) 前回評価時の感度分析下位ケース 1.7 ≥ 基準値(1.0)	満足している ■	満足してない □
前回評価で資料の作成を省略していない		省略していない ■	省略している □
前回評価で費用対効果分析を省略していない		省略していない ■	省略している □
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	特になし	—	
以上より、審議区分 : 重点 資料 : 作成 費用対効果分析 : 実施 とする。			

2. 事業概要

(1) 位置図

岡山環状南道路は、高規格道路「岡山環状道路(岡山市街地の外周延長約40km)」の一部を構成する岡山市南区藤田から岡山市南区古新田に至る延長2.9kmの道路である。



2. 事業概要

(2) 事業目的と計画概要

・岡山市都市部で発生している交通混雑の緩和、交通安全の確保、物流ネットワークの形成等を目的とした事業である。



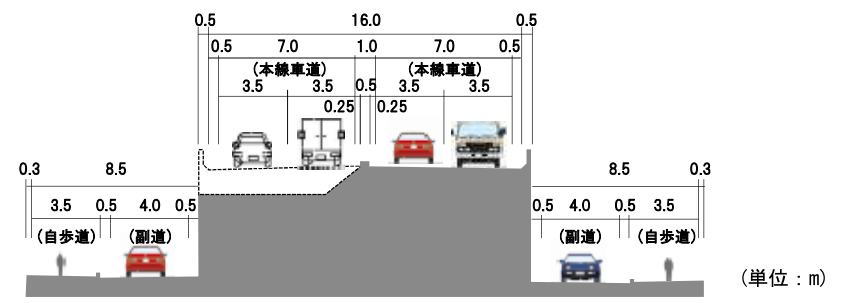
起点側より終点側を望む[令和5年2月撮影]

計画概要

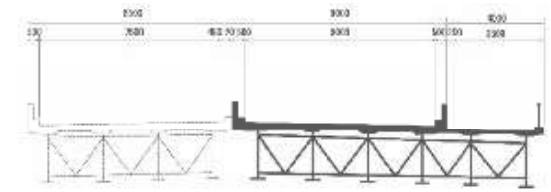
起 終 点	起点：岡山県岡山市南区藤田 終点：岡山県岡山市南区古新田
計 画 延 長	2.9km
道 路 規 格	第4種第1級
設 計 速 度	60km/h
車 線 数	暫定2車線
全 体 事 業 費	約408億円

標準断面図

《一般部》



《本線JR部高架橋》



2. 事業概要

(3) 事業の経緯・進捗状況

- 平成21年度に事業着手し、平成23年度に用地、平成24年度に工事着手し、令和4年度に大樋橋西交差点の立体化が完成している。
- 岡山市南区藤田～南区古新田間の2.9kmの全線が令和6年度に開通予定。



●事業の経緯

年度	内容
平成20年度	都市計画決定
平成21年度	事業着手
平成23年度	用地着手
平成24年度	工事着手
平成25年度	事業再評価
平成28年度	事業再評価
令和2年度	事業再評価

●事業の進捗状況(令和5年度末見込み)

おかやまかんじょうみなみ 岡山環状南道路	
用地	100%
工事	80%
全体	84%

※事業費に対する割合



【写真①】古新田地区の進捗状況



【写真②】本線JR部高架橋付近の進捗状況



【写真③】藤田地区の進捗状況

3. 前回評価時からの主な周辺環境の変化

- 令和4年4月、一般国道2号岡山倉敷立体(Ⅰ期)の5.6kmが新規事業化。
- 令和4年4月、岡山環状道路(外環状線)の一部区間である市道藤田浦安南町線の1.6kmが開通。
- 令和5年1月、一般国道180号総社・一宮バイパスの一部区間(総社市総社～総社市小寺)の1.9kmが開通。
- 令和5年2月、一般国道2号大樋橋西高架橋が4車線完成。



(1)現状の課題

課題①: 国道2号・30号の交通混雑



整備効果①: 国道30号から岡山市中心部および広島方面へ
向かう交通の分散、交通混雑の緩和、速度向上

課題②: 国道2号・30号の交通事故



整備効果②: 死傷事故件数の削減

(2)道路整備により期待される効果

①: 物流効率化の支援



整備効果③: 岡山市南部地域の物流効率化を支援し製造・物
流企業等の立地促進・雇用促進

②: 救急活動の支援



整備効果④: 岡山市南部地域からの搬送先の選択肢拡大

③: 災害時の代替路の確保



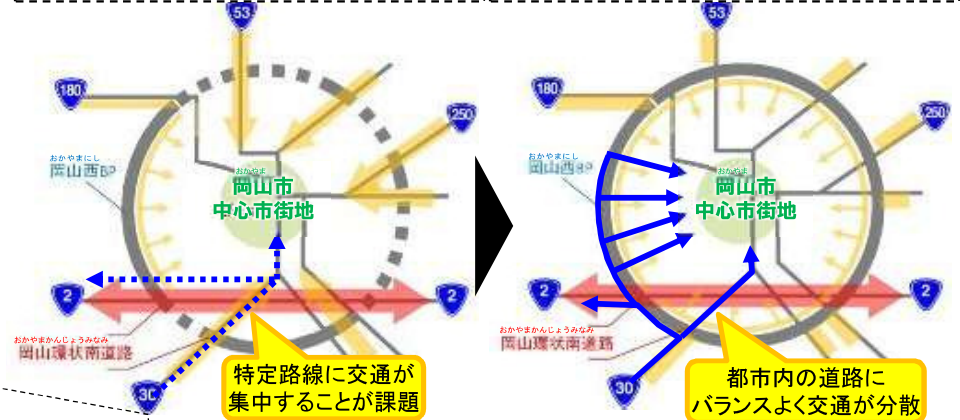
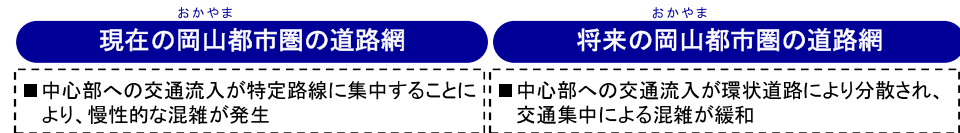
整備効果⑤: 浸水等に強く、洪水浸水時の代替路や周辺道路
と一体となり幹線道路ネットワーク機能を確保

4. 事業の必要性

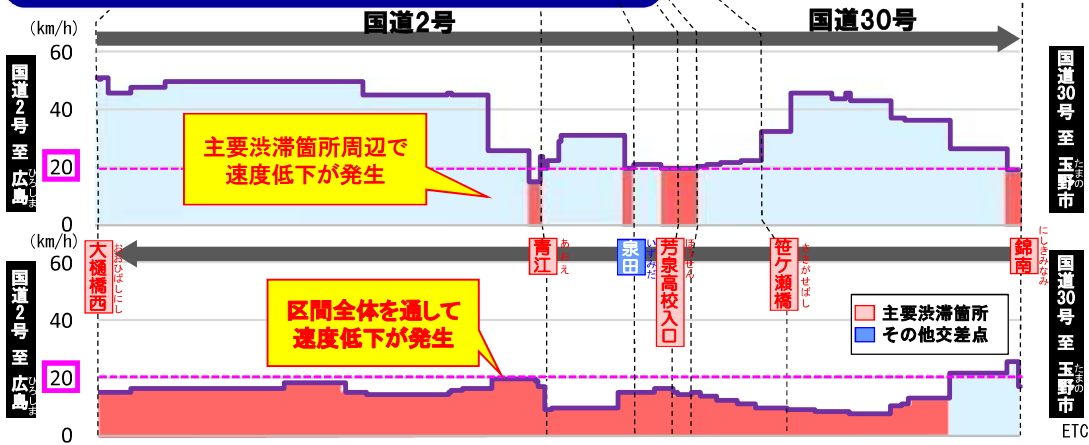
(1) 現状の課題

① 国道2号・30号の交通混雑

- 岡山市中心部は、国道2号や国道30号から通過交通の流入や交通の集中により、慢性的に渋滞が発生している。
- 県南の玉野市から岡山市中心部への主経路となる国道30号は主要渋滞箇所が連胆し、混雑時の速度低下が著しい。
- 岡山環状南道路の整備により国道30号から岡山市中心部へ向かう交通が分散され、混雑緩和、速度向上が期待される。



国道2号妹尾西～国道30号錦南の平日7時台の旅行速度



【写真】国道30号笹ヶ瀬橋付近の混雑状況



撮影日：R5.9.7 (木) 朝

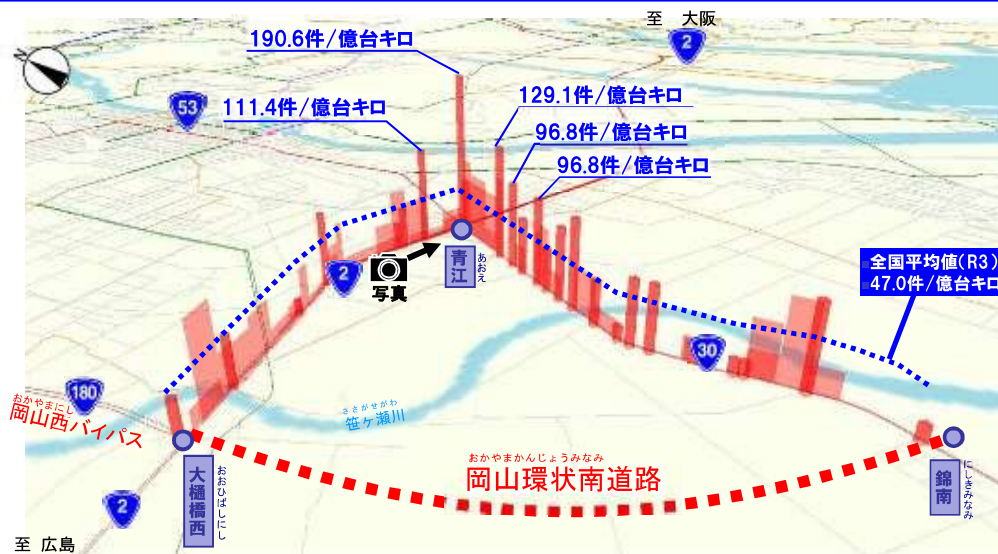
ETCプローブデータR5.4～5月 平日平均 7時台

4. 事業の必要性

(1) 現状の課題

② 国道2号・30号の交通事故

- ・並行する国道2号および国道30号は、死傷事故率が全国平均を上回る箇所があり、継続してピンポイント渋滞対策を行い、渋滞緩和は見られるものの、未だ交通渋滞に起因する追突事故が多発している。
- ・岡山環状南道路の整備により、死傷事故率の高い箇所の回避ができるほか、交通分散が図られることで交通量の減少に伴う渋滞緩和によって、交通事故の減少が期待される。



- #### あおえ 青江交差点ピンポイント対策(H25.3~)
- 右直分離信号の導入による右直分離
 - 右折車線の2車線化
 - 交差点内のアローマーク・カラー舗装の実施
 - 歩道のカラー舗装による自転車走行位置の明確化

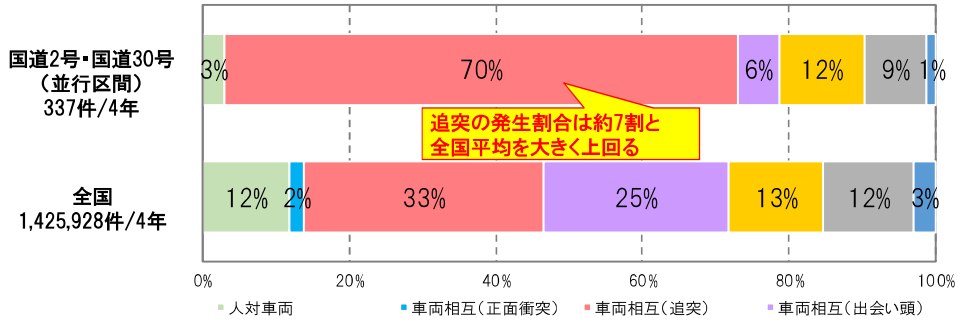
【凡例】

- 死傷事故率
- 全国平均死傷事故率 [47.0件/億台キロ]

※R3年データ(交通事故総合分析センターより)

並行現道: 交通事故・道路統合データベース (H30-R3)
 全国平均: 令和4年度版交通統計 (令和3年平均値)

国道2号大樋橋西交差点～国道30号錦南交差点間の死傷事故の特性



並行現道: 交通事故・道路統合データベース (H30-R3)
 全国平均: 令和4年度版交通統計

あおえ 【写真】青江交差点付近で発生した交通事故



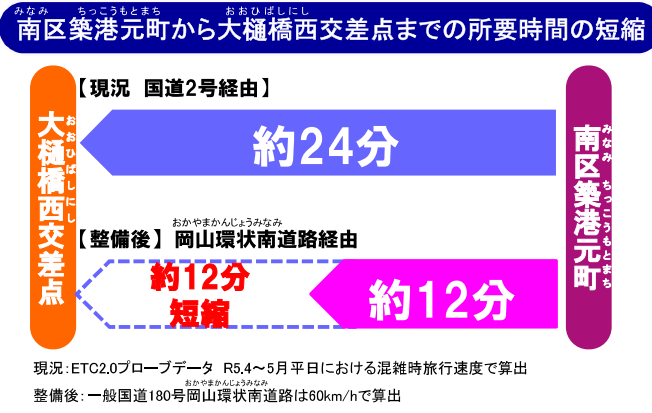
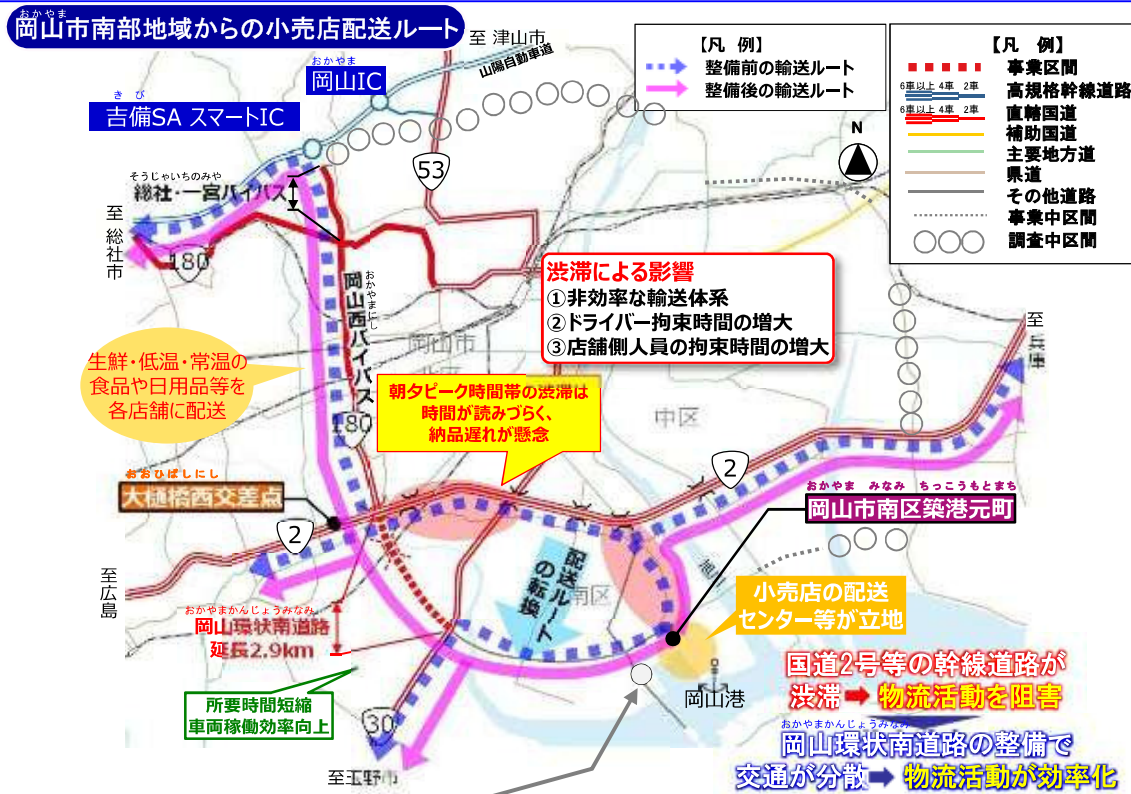
撮影日: H16.7.14

4. 事業の必要性

(2) 道路整備により期待される効果

① 物流効率化の支援

- ・事業区間周辺には、中央卸売市場や物流企業等が立地し、岡山市の倉庫業従業者数は増加傾向。
- ・岡山環状南道路の整備後は、並行現道の渋滞緩和や岡山市南部地域を横断的に結ぶネットワークが形成され、小売店舗配送の効率化など、岡山市南部地域を発着する物流の効率化が期待される。



岡山市中央卸売市場

敷地面積	: 193,854㎡
建物面積	: 78,818㎡
供給圏人口	: 206万人
卸売業者	: 5社
仲卸業者	: 46業者
関連事業者	: 65業者

※岡山市Webより (R5.4.1時点)
 写真: 岡山市ホームページ

物流事業者

岡山県全域を中心に1日100便以上の店舗配送を行っていますが、国道2号や国道30号の渋滞は課題であり、納品遅れにつながる可能性があります。

岡山環状道路により国道2号などの交通流動が変化し市内の渋滞が緩和すれば、配送時間の短縮や車両稼働率の向上が期待できます。

(R5.9 ヒアリング調査結果)

4. 事業の必要性

(2) 道路整備により期待される効果

② 救急活動の支援

- ・岡山市消防局南消防署の灘崎出張所では、年間700件以上の救急搬送を行っており、約3割が国道2号以北の医療機関へ収容しているが、国道30号には主要渋滞箇所が連続するほか、国道2号の交点である青江交差点を中心に混雑しており、国道2号以北の医療機関への搬送に支障をきたす場合がある
- ・岡山環状南道路の整備後は、並行現道の渋滞緩和によって、岡山市立市民病院や国道30号沿線の医療機関へのアクセス向上が期待される。



【凡例】

--- (Red dashed)	事業区間
--- (Red solid)	高規格幹線道路
--- (Blue solid)	直轄国道
--- (Green solid)	補助国道
--- (Yellow solid)	主要地方道
--- (Grey solid)	県道
--- (Black solid)	其他道路
+	二次救急医療機関
+	三次救急医療機関

関係者の声



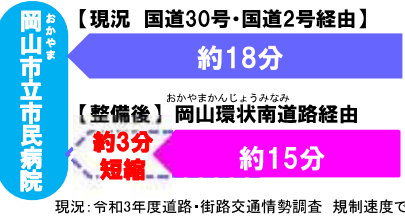
・国道2号と国道30号の交差する青江交差点を中心に混雑しており、市内中心部への搬送に支障をきたす場合があります。

・岡山環状南道路整備後は、交通の分散により現道利用がスムーズになり中心部の医療機関への搬送がより円滑に行えるほか、環状南道路利用時には、岡山市立市民病院や倉敷方面などへの搬送時間短縮が期待できます。

(R5.9 ヒアリング調査結果)

出典：岡山市消防局提供資料(令和4年実績)

搬送時間の短縮効果



七区 南区西高崎(にしがさき) 区人口交差点

4. 事業の必要性

(2) 道路整備により期待される効果

③災害時の代替路の確保

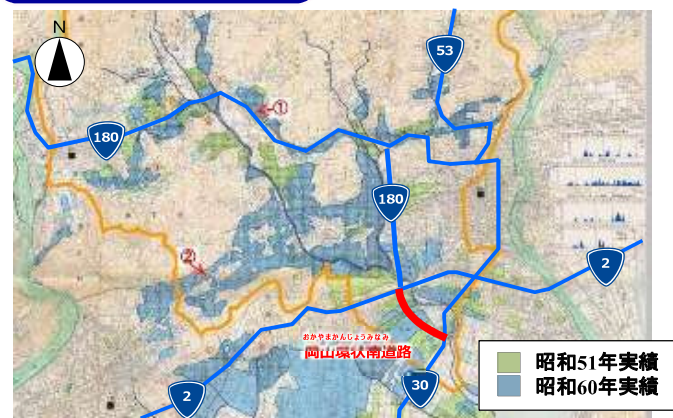
- ・事業区間周辺は、ささがせがわ 笹ヶ瀬川流域であることから岡山市の洪水による浸水想定区域に指定。
- ・岡山環状南道路は盛土構造であり、浸水等に強い構造になっているため、洪水浸水時の代替路や周辺道路と一体となり幹線道路ネットワーク機能を確保し、水害時において外部からの救助・救援等が可能となる。

おかやま 岡山市南部地域の洪水浸水想定区域



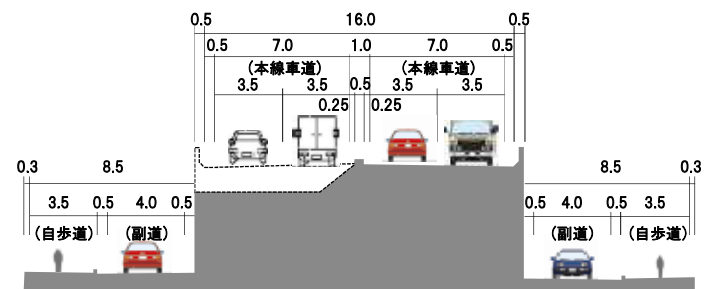
出典：国土数値情報 浸水想定区域(想定最大規模) データ作成年：令和2年度
岡山市洪水・土砂ハザードマップ(避難所)

ささがせがわ 笹ヶ瀬川流域の浸水実績



おかやま 出典：岡山県HP資料を加工

おかやまかんじょうみなみ 岡山環状南道路(一般部)の標準断面図



(単位：m)

5. コスト増加の要因

総事業費(増額後) : 408億円 、 今回増額 : 55億円(約16%増)

■コスト増加の内訳

項目	増額費用
(1)補強土壁盛土材の変更	34億円
(2)労務費・物価上昇による増加	21億円
合 計	55億円

5. コスト増加の要因

(1) 補強土壁盛土材の変更

約34億円の増額

・補強土壁の盛土材は他事業からの流用土を利用する計画だったが、補強土壁の盛土材として適さないことが判明し良質土により埋め戻しが必要となった。

位置図



土砂流用計画



盛土材の基準

	適用範囲	発生土	判定
細粒分含有割合	25~35%	85%	×

出典：補強土（テールアルメ）壁工法・施工マニュアルより

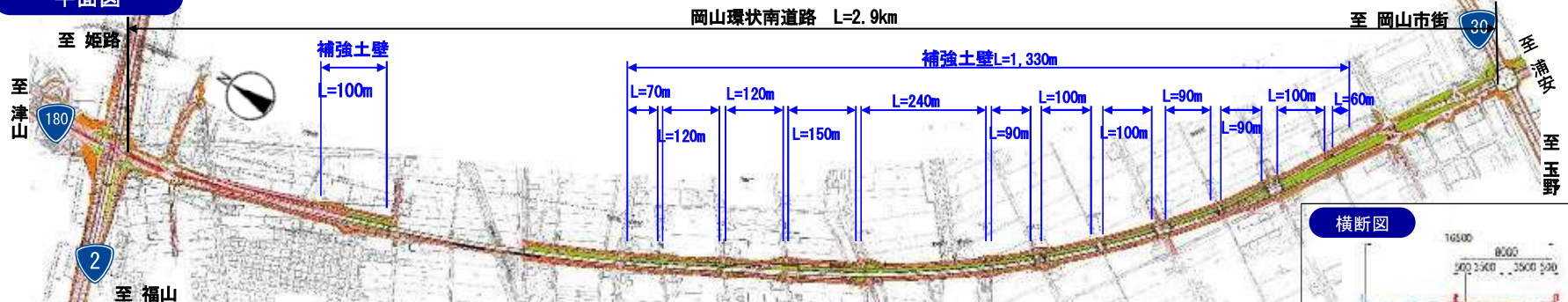
他事業の発生土
(掘削直後の状態)



他事業の現場作業状況



平面図



増額内訳

購入土 約34億円増額

項目	土量 (m ³)	工事費 (百万円)
購入土	200,000	900
運搬費 (約35km)	200,000	2,500
合計		3,400

・他事業からの流用土として、河川堤体から発生する土であるため良質土を想定していたが、細粒分含有割合が高く補強土の盛土材への流用が困難になった。

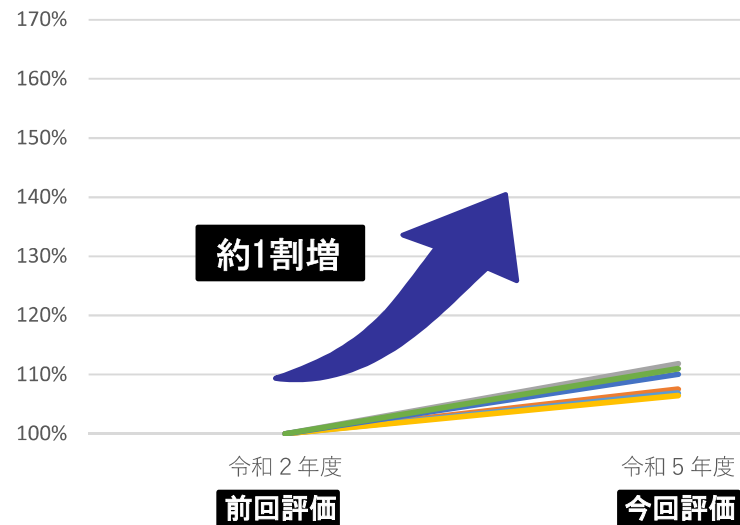
5. コスト増加の要因

(2) 労務費・物価上昇による増加

21億円の増額

・前回評価(令和2年度)後の資機材・労務単価上昇によって、増額の必要が生じた。

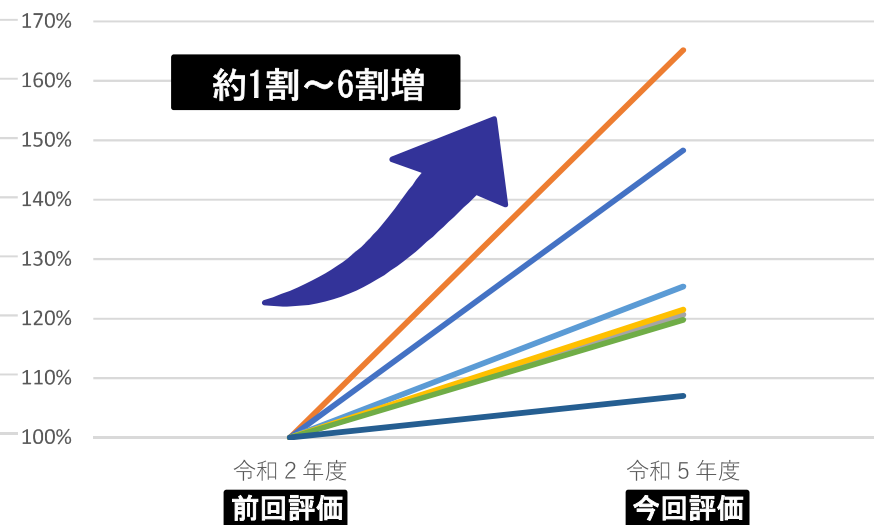
労務単価の伸び率【岡山県】



【凡例】

- 特殊作業員 108%
- 普通作業員 107%
- 土木一般世話役 112%
- 運転手(特殊) 106%
- 型枠工 110%
- 橋梁世話役 111%

主要建設資材単価の伸び率【岡山県】



【凡例】

- 異形棒鋼 SD345 (D19) 165%
- 鋼板 12 ≤ t ≤ 25 148%
- 生コンクリート (高炉 18-8-25) 125%
- アスファルト混合物 (密粒度13mm) 121%
- 軽油 (ローリー) 122%
- セメント 高炉Bバラ 120%
- コンクリートスキン フル 107%

6. コスト縮減に対する取組

(1) 橋台背面部の土圧軽減対策

約1億円の縮減

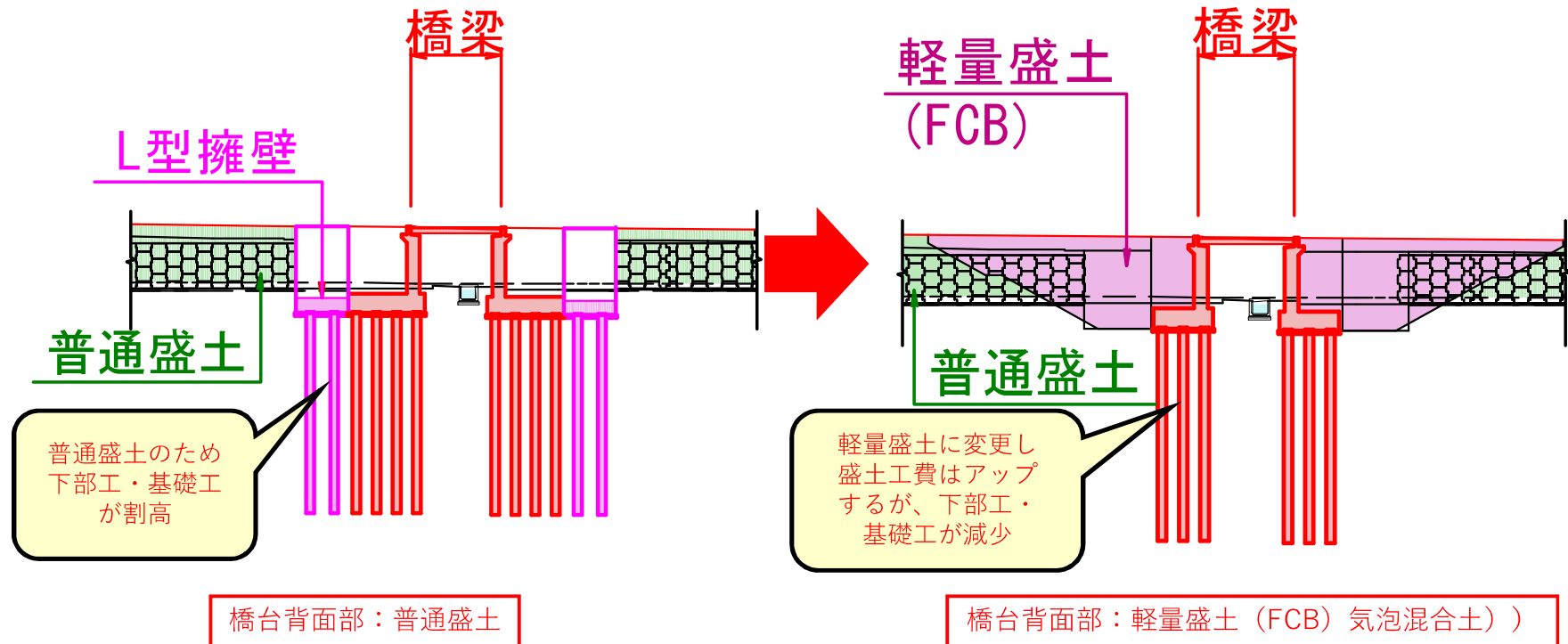
・軟弱地盤上に施工される橋台であり、通常の盛土では基礎工が大規模となり下部工・基礎工の工事費が割高になるため、橋台背面に軽量盛土(FCB(気泡混合軽量土))を用いることで下部工・基礎工のコスト縮減を図る。

◇普通盛土 (橋台背面普通盛土 + 杭基礎 + L型擁壁)
工事費 6 億

◇軽量盛土 (橋台背面軽量盛土 + 杭基礎)
工事費 5 億

変更前

変更後



7. 今回のとりまとめ結果

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
費用 (C)	460	82
事業費	437	59
維持管理費	24	24
便益額 (B)	1,038	1,038
走行時間短縮便益	920	920
走行経費減少便益	102	102
交通事故減少便益	16	16
費用便益比	2.3	12.6

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

端数処理のため合計が合わない場合がある

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
23,700~28,600台/日 (89,600台/日)	約408億円	460億円	1,038億円	2.3 (12.6)

※上段：岡山環状南道路
下段：国道2号（大槌橋西高架橋）

※基準年：R5年

◆道路の役割

■道路の役割

- ①環境への影響を考慮した効果 [約6.9千トン/年のCO₂削減【+約3.99億円】]
- ②沿道環境の改善[NO_x排出量:約15.4t/年(約0.3%)削減、SPM排出量:約0.9t/年(約0.3%)削減]
- ③物流効率化の支援 [例]玉野市役所～岡山空港までの所要時間短縮約18分]

8. 今後の対応方針(原案)

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- 令和4年4月、一般国道2号岡山倉敷立体(I期)の5.6kmが新規事業化。
- 令和4年4月、岡山環状道路(外環状線)の一部区間である市道藤田浦安南町線の1.6kmが開通。
- 令和5年1月、一般国道180号総社・一宮バイパスの一部区間(総社市総社～総社市小寺)の1.9kmが開通。
- 令和5年2月、一般国道2号大樋橋西高架橋が4車線完成。

2) 事業の効果

- ◇費用便益比(B/C)= 2.3(事業全体) 12.6(残事業)
- ◇道路の役割
 - ①環境への影響を考慮した効果 [約6.9千トン/年のCO₂削減【+3.99億円】]
 - ②沿道環境の改善[NO_x排出量:約15.4t/年(0.3%)削減、SPM排出量:約0.9t年(0.3%)削減]
 - ③物流効率化の支援 [例]玉野市役所～岡山空港までの所要時間短縮約18分(97分→79分)]

3) 事業の進捗状況

- ◇令和5年度末で事業全体の進捗率は84%になる見込みである。

②事業の進捗見込み

- ◇現在、工事を推進しており、令和6年度開通を目指し、事業を推進する。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 市への意見照会結果

- ◇岡山市長の意見:異議ありません。
一般国道180号 岡山環状南道路は、岡山市の外環状線の一部を構成し、市道藤田浦安南町線と接続することにより、岡山市中心市街地や国道2号の渋滞緩和、物流の効率化による産業振興に大きく寄与する重要な道路であるため、令和6年度の開通に向けた着実な整備を要望します。

【今後の対応方針(原案)】

- ◇以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。

	前回評価 (R2年度)	今回再評価 (R5年度)	備 考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=2.9km	L=2.9km	—
計画交通量 (上段:岡山環状南道路 下段:国道2号 (大樋橋西高架橋))	23,200~27,200台/日 (84,300台/日)	23,700~28,600台/日 (89,600台/日)	・OD表 前回:H220D ⇒ 今回 H270D
総事業費	約353億円	約408億円	・補強土壁盛土材の変更 ・労務費・物価上昇による増加
総費用 (C)	364億円	460億円	・総事業費、維持管理単価、基準年次を見直し
総便益 (B)	655億円	1,038億円	・計画交通量、便益単価、基準年次を見直し
費用対効果 (B/C)	1.8	2.3	・総費用及び総便益を見直し

※費用/便益は基準年における現在価値の値

基本3便益以外の効果項目	算定概要
(1)温室効果ガス低減	走行性改善によるCO ₂ 排出量削減効果を便益として算定

【参考】3便益以外の便益

① 温室効果ガス排出量削減に伴う生活環境改善効果

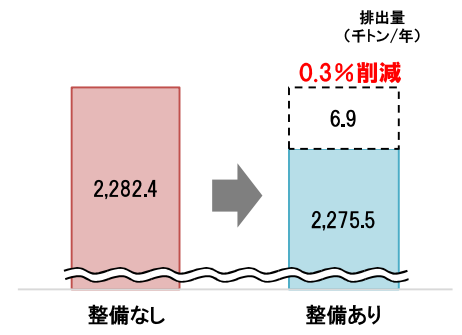


効果項目：(1) 温室効果ガス削減

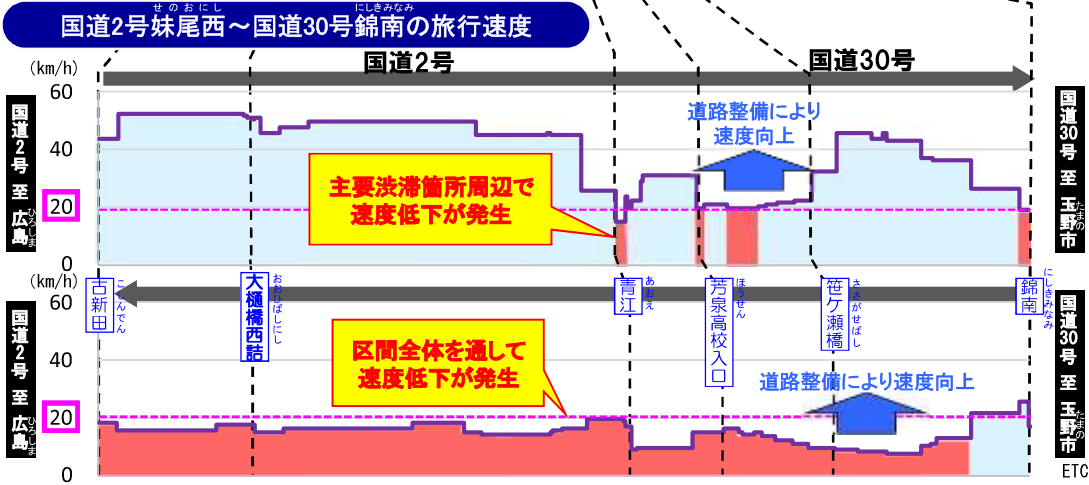
- ・岡山市中心部は、国道2号や国道30号から通過交通の流入や交通の集中により、慢性的に渋滞が発生している。
- ・県南の玉野市から岡山市中心部への主経路となる国道30号は主要渋滞箇所が連胆し、混雑時の速度低下が著しい。
- ・岡山環状南道路が整備されることで走行速度が向上し、温室効果ガスの削減により生活環境が改善する。



二酸化炭素(CO₂)の削減量



※影響エリア全体として
データ：交通量推計結果



温室効果ガス排出量削減に伴う環境改善効果

3.99億円

※影響エリア全体を対象に整備後50年間の便益額として試算した値

便益額(試算値) =
(整備なしの排出量貨幣評価値 - 整備ありの排出量貨幣評価値) × 365日 × 評価期間(整備後50年間)

ETCプローブデータR5.4~5月 平日平均 7時台

岡山市への意見照会と回答

国中整企画第48号

令和5年10月26日

岡山市長様

国土交通省 中国地方整備局長

(公 印 省 略)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を確保するため、中国地方整備局事業評価監視委員会（以下、「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針（原案）について審議しております。

このたび、令和5年12月1日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針（原案）の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を賜りたく依頼致します。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道180号 岡山環状南道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業評価監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成します。

■ ご意見の返信期限：令和5年11月22日（水）まで （※様式自由）

■ 返信・お問い合わせ先

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 前田 （内線：3153）<maeda-k87mb@mlit.go.jp>

係 長 藤井 （内線：3166）<fujii-t87hr@mlit.go.jp>

係 員 池田 （内線：3167）<ikedas87nf@mlit.go.jp>

TEL：082-221-9231（代表）

岡道計第 188 号
令和5年11月15日

中国地方整備局長 様

岡山市長 大森 雅夫
(公 印 省 略)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

貴職におかれましては、平素より岡山市の土木行政に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年10月26日付け国中整企画第48号で照会のありました「一般国道180号 岡山環状南道路」の再評価に係る対応方針(原案)に対する意見について、下記の通り回答します。

記

1 意見 異議ありません。

一般国道180号 岡山環状南道路は、岡山市の外環状線の一部を構成し、市道藤田浦安南町線と接続することにより、岡山市中心市街地や国道2号の渋滞緩和、物流の効率化による産業振興に大きく寄与する重要な道路であるため、令和6年度の開通に向けた着実な整備を要望します。

<問い合わせ先>

岡山市 都市整備局

道路部 道路計画課

課長 深井 真介

TEL 086-803-1696

FAX 086-803-1727